

市之川公民館だより

平成 29 年 1 月号
(No.517 号)
発行；市之川公民館
西条市市之川 6678-1
Tel&Fax； 56-3300

1 月 睦月 (むつき)

あけましておめでとうございます。

平成 29 年の新しい年となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
さまざまな想いを胸に、新年をお迎えのことと存じます。皆々様にとりまして
今年が旧年にも増してよき年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。
今月も、皆様お元気でお過ごしください。



《1月の行事予定》

日	曜	行事・時刻・場所
1	日	祝 元日
9	月	祝 成人の日
14	土	カラオケ会 10:00～ 集会室
15	日	公民館フェスティバル 10:00～ 西条総合文化会館
28	土	カラオケ会 10:00～ 集会室

※ 新しく見つかった写真 情報をおよせください。



※ 市役所玄関の展示を少し変えました。



※ 鉾山資料室の改修工事が終わりました。

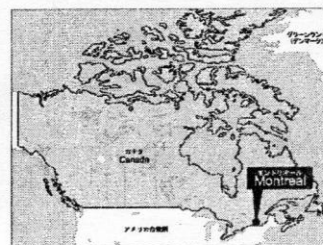


- おでん食べ 友と囲んで 師走かな
- 餅ついて 孫は仕事で 爺はバテ
- 健康器 友がくれたり 大人気
- 砂おろし 一日がかり 友の顔
- コンサート 聴いて一句も 筆走る
- 市之川 歴史に残る 輝安鉾
- 雪姿 かぶりに見える 海景色
- スキー場 きれいに照らし 雪祭り
- ふるりに 川面を染めし 紅葉かな
- 神々し 初冠雪を 拝みけり
- 寒椿 木枯らし小僧が やってくる

芸 欄

館館知知知正正正正正
長長 歓 歓 歓 正 正 正 正 正

カナダ・モントリオールの人権教育から



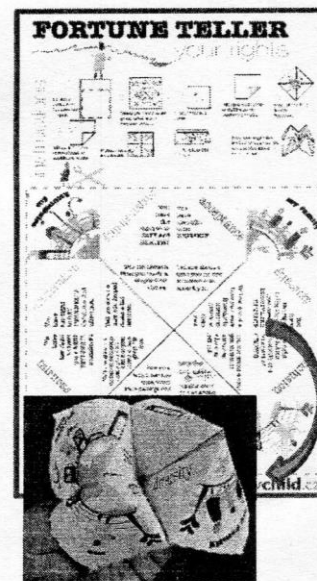
モントリオールは、人口380万人の都市です。カナダは多民族国家であり、移民や難民、先住民など多くの民族が生活しています。モントリオール市内を歩いていると、先住民、イギリス系住民、フランス系住民、中国系、イタリア系、ドイツ系、ウクライナ系といろいろな方に会うことができ、多民族都市であることが一目瞭然とわかります。歴史の中で、英語とフランス語の使用の対立があり、現在、公用語はフランス語です。しかし、両方の言語を使える住民

の方々も多いと言えます。このように、あらゆるところに「違い」が見えるモントリオールです。

10年前、ALT（外国語指導助手）として西条市内の学校に勤務されていた、エイミー・クーパーさんを訪ねての旅でした。彼女は、現在、カナダの人権教育機関・NGO法人「equitas」の職員です。彼女と、カナダやequitasの人権教育について話す機会を得ました。



（「equitas」の人権教育ガイドから）



このequitasにおける人権教育には、6歳から12歳を中心に行われている「Play It Fair!」というプログラムがありました。「公平にしよう!」という意味があり、「平等と多様性」について学習できます。多民族国家であることで、「違い」に対して受容できる態度と知識が絶対不可欠だと思います。また、「人間の尊厳」を重要視しています。尊厳を破壊するものは、「差別」に他ならないのです。カナダに住んでいる黒人の方が言われていましたが、「人種差別をあまり感じないんです。」と。全く差別がないかどうかはわかりませんが、カナダの人権教育の成果はあると思います。

このプログラムで身に付けることのできる価値は、「受容」「公正」「多様性」「責任」「協力」などです。小学校では、放課後児童クラブや学校の授業、キャンプ等の中で行われていました。ゲームとグループディスカッション等の方法が十分行われていました。

子どもの感想から：「I take more care of others and others take more care of me.」（「私は、より人を気にかけるようになり、人はより私を気にかけてくれるようになりました。」）

Equitas の人権教育の教具

エイミーさんが、帰国後、日本の「折り紙」を活用して作ったもの。外側に、4つの領域（自分、所属するコミュニティ、学校、家族）、内側には価値や権利が書かれています。その組み合わせでディスカッションが行われます。もう一つ中側を開けると、ディスカッションの答えのような内容が書かれていました。

お互いの違いを認め合い、そして、違いが大切にされる社会こそ
誰もが生きやすいと感じることのできる社会です!